

岐阜県の観光振興の現状等

岐阜県経済・雇用再生戦略（計画期間：R5-R9）

県経済の再生から、社会経済環境の変化に対応した持続的発展を目指し6つのプロジェクトを展開

新たな産業活力の創出

「DX」「GX」推進加速化

人材確保・雇用対策

新次元の地方分散への対応

県産品の世界展開

世界に選ばれる
持続可能な観光地域づくり

【主な施策】

サステナブル・ツーリズムの推進

- ・地域資源の保全・活用による観光地域づくり
- ・関ヶ原古戦場を核とした戦国・武将観光の推進

観光人材の確保・育成及び生産性の向上

- ・地域連携による観光人材の確保・育成
- ・デジタル技術等の活用による生産性向上の取組み支援

観光消費拡大に向けた誘客プロモーションの展開

- ・ターゲット層のニーズに合わせた魅力発信
- ・国内外へのデジタルプロモーションの推進

サステナブル・ツーリズムの推進 [地域資源の保全・活用による観光地域づくり]

持続可能な観光の国際認証の取得

- ・世界の持続可能な観光地トップ100選
(R2：白川村、R3：長良川流域、R4：下呂市・下呂温泉)
- ・ベストツーリズムビレッジ (R5：白川村)
- ・グリーンデスティネーションズ シルバーアワード (R6：高山市)



白川村



長良川流域

「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」の認定 (R5)

- ・飛騨小坂～自然のめぐみを体験、滝めぐり、湯めぐり～(下呂市)
- ・恵那岩村の山城・城下町と農村景観めぐり(恵那市)



下呂温泉



高山市

持続可能な観光地づくり国際ネットワーク(INSTO)加入

- ・自治体として岐阜県が初めて加入 (R5)
- ・世界の先進地との情報共有、指標に基づくモニタリング



小坂の滝



岩村城跡

サステナブル・ツーリズムの推進 [地域資源の保全・活用による観光地域づくり]

東美濃地域における観光地域づくり

- ・豊富な歴史・産業文化資源を核に、東美濃地域の魅力を訴求し、認知度向上及び誘客促進を図るプロモーションを展開

長良川流域における観光地域づくり

- ・長良川流域の資源を一体的にブランディングし、統一コンセプトのもと欧米豪をターゲットとした誘客プロモーションを展開

木曽三川サイクルツーリズムの推進

- ・木曽川サイクリングモデルルートの特設ウェブページで紹介
- ・民間主催のサイクリングイベント（ツール・ド・KISOGAWA）を活用した誘客PR

ユニバーサルツーリズムの普及促進

- ・ウェブサイト「ふらっと旅ぎふ」でのバリアフリー観光情報の発信
- ・バリアフリー観光動画の作成、啓発セミナーの開催



サステナブル・ツーリズムの推進 [関ヶ原古戦場を核とした戦国・武将観光の推進]

「大関ヶ原祭」の開催

- ・ 著名人によるスペシャルトーク、歴史研究者による講演会、武道演武・体験など、関ヶ原合戦にちなんだイベント

大関ヶ原祭



世界三大古戦場の連携

- ・ 関ヶ原町が「ワートルロー古戦場（ベルギー）」及び「ゲティスバーグ古戦場（アメリカ）」と協定を締結
- ・ 「世界三大古戦場サミット」を開催（R7）し、古戦場が持つ歴史的な意義と平和の尊さを世界に発信



岐阜戦国・武将観光推進連絡会

- ・ 22の県内市町で構成。武将パネルや動画等を制作し、県と市町が一体となってプロモーションを展開するとともに、全国的な戦国・城郭イベントへのブース出展を実施



世界三大古戦場サミット



岐阜関ヶ原古戦場記念館

観光人材の確保・育成及び生産性の向上

■ 宿泊施設で働く魅力を伝える出前講座の開催

- ・ 観光を学ぶ生徒を対象に、県内宿泊事業者による講演を開催
(岐阜女子大学、岐阜総合学園高校、郡上北高校 他)

■ 大学・専門学校等の学内合同企業説明会への出展

- ・ 宿泊施設と学生とのマッチングの機会を創出
(岐阜女子大学、愛知県の短期大学・専門学校 他)

■ 宿泊施設の仕事や雰囲気を発信する動画作成支援

- ・ 宿泊施設における仕事内容や職場の雰囲気、地域で働く魅力などを
学生等へPRするための動画作成を支援

■ 生産性向上・稼ぐ力向上セミナーの開催

- ・ 宿泊事業者を対象に、専門家を講師に迎え、デジタル技術の活用等
による生産性向上や高付加価値化の取組を促すセミナーを開催



県内宿泊事業者による出前講座

観光消費拡大に向けた誘客プロモーションの展開

県内への誘客及び滞在時間延長を促進

- ・県内市町村と連携し、大都市圏での対面PRと雑誌メディア媒体とのタイアップによるプロモーションを実施
- ・NEXC O 中日本と連携し、県内・近隣県の高速道路周遊パスを販売

観光マーケティングを活用したプロモーション

- ・岐阜県観光連盟において、位置情報分析ツール「おでかけウォッチャー」を活用した観光客の動向分析及びデータに基づく誘客事業を展開
- ・外国人向け観光情報サイト「Visit Gifu」において本県の魅力を発信するとともに、国ごとの旅行者の嗜好を分析・検証し、効率的かつ効果的な誘客プロモーションを実施

欧米豪・アジアからの県全域への誘客促進

- ・県内観光地への「もう一泊」を促す旅行商品の造成・販売支援やインバウンド商談会の実施、航空会社・空港・鉄道と連携した情報発信を実施

インバウンド高付加価値化の推進

- ・本県ならではの「匠の技」「伝統文化」「食」等をテーマとした高付加価値旅行者向け着地型体験商品「Discover GIFU」を造成し、海外旅行博等でPR



県観光季刊誌



商談会



作陶・茶道体験（美濃焼）



日本刀鍛錬（関の刃物）



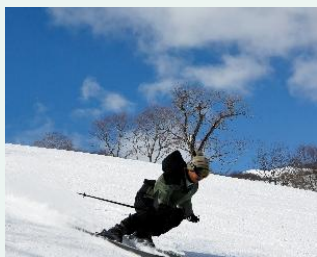
白山文化体験



木工体験

重点的に取り組んでいる施策

岐阜県アウトドア観光キャンペーンの展開



- ・県内42市町村に点在する、森林浴や農泊、川遊びなど、多彩で魅力的なコンテンツの掘り起こしを実施
- ・今後、これらのコンテンツを活用した体験メニュー化を進め、大手旅行会社やオンライン旅行会社と連携し、旅行商品を造成・販売
- ・また、キャンプ場、温泉、飲食物販など多種多様な観光事業者の協力を得て、割引や特典付きのキャンペーンを実施

大河ドラマ等を契機としたロケツーリズムの推進

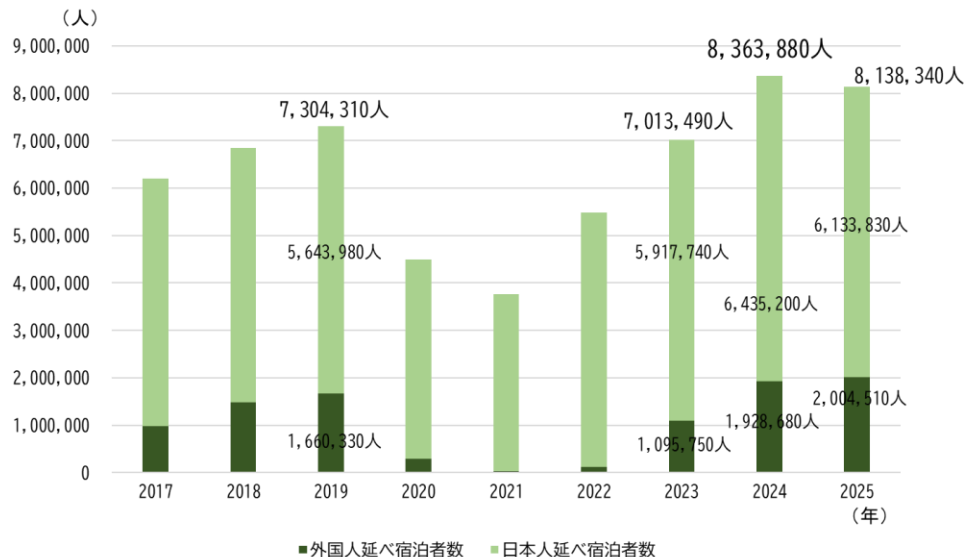
- ・大河ドラマ「豊臣兄弟！」出演者を招いたトークイベントや県内ゆかりの地を紹介するHP製作による誘客推進
- ・TVドラマ「VIVANT」(TBS)続編の県内撮影誘致・支援、その成果を来訪者の満足度向上につなげる受入態勢整備

スペインの観光関係者に向けた県内観光地のPR

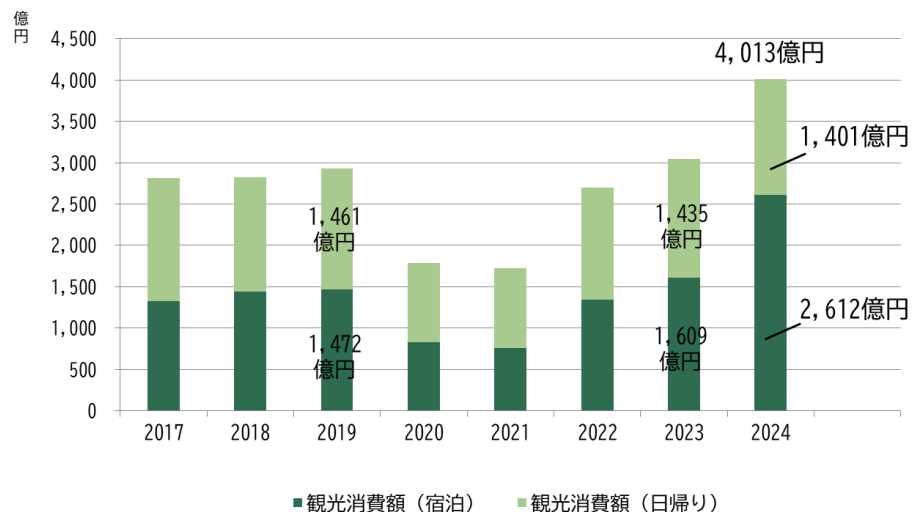
- ・日本国内で初開催となる、観光庁主催「日西合同協力委員会」が岐阜市で開催され、その関係者向けに、本県の魅力ある観光地をPR
(視察先：高山市古い町並み、白川郷、馬籠宿等)

- 延べ宿泊者数は、2025年に外国人が過去最高。日本人は前年比4.7%減少
- 観光入込客数と行催事・イベント入込客数は、コロナ禍以降、着実に増加
- 観光消費額は、2024年に過去最高。宿泊客の消費額は前年を大きく上回った

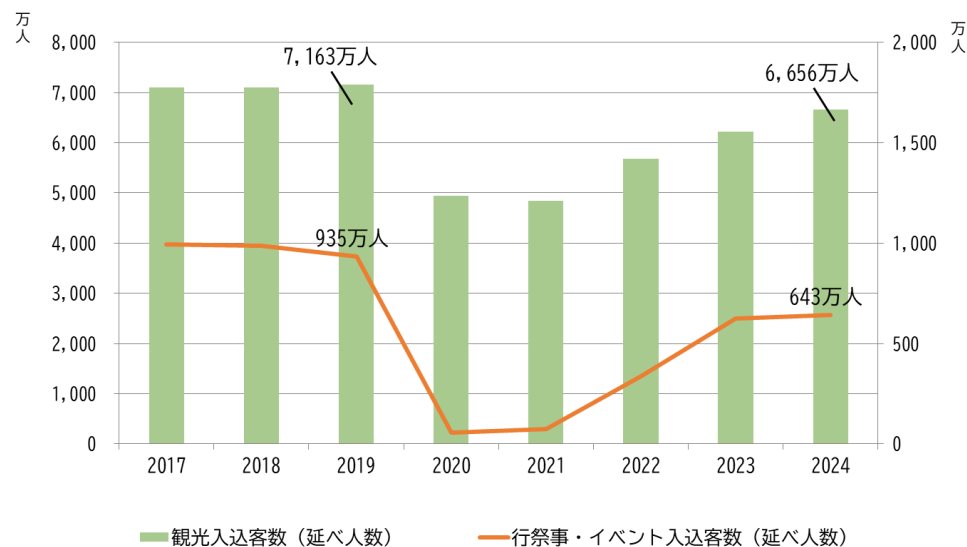
延べ宿泊者数（外国人／日本人）



観光消費額の推移



観光入込客数（延べ人数）、 行催事・イベント入込客数の推移



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
岐阜県「岐阜県観光入込客統計調査」

01

「岐阜県」のブランドイメージ の浸透が十分ではない

岐阜県の魅力度
(2025年)

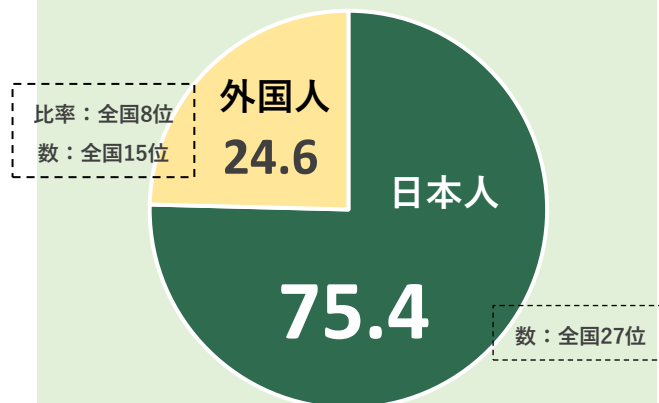
34位

個々の観光地の知名度は高まったが、それらが岐阜県にあると認知されていない

出典：ブランド総合研究所
「地域ブランド調査2025」

02

国内旅行者への更なる 魅力訴求が必要



本県の延べ宿泊者数の構成比(2025年)

インバウンドのみならず、交流・関係人口の拡大に資する国内旅行者も意識した取組が必要

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

03

観光スタイルが 「体験」「学び」 にシフト



観光名所を訪ねて、写真を撮って、
名物料理を食べる

→ 健康や癒し、体験にシフト

観光立国推進基本計画（R8.3閣議決定）

[計画期間：R8～12年度]

【課題・方向性】

- ・観光は地域・日本経済にとっての戦略産業
 - ・一方、オーバーツーリズム、人材不足、高付加価値化、国内交流の拡大などが課題
- ⇒「地域住民と観光客双方の満足度向上」
「交流人口・関係人口拡大」
「住んでよし・訪れてよし」に加え、
「働いてよし」の観光産業の実現を推進



【施策の柱】

インバウンドの戦略的な誘客と
住民生活の質の確保との両立
観光地・観光産業の強靱化
国内交流・アウトバウンド拡大



《目指すべき2030年の姿》

戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも
持続的に継承・発展させていく観光

岐阜県の新たな総合戦略（仮称）（R9.3策定見込）

[計画期間：R9～13年度]

【主な課題（確実に到来する未来）】

- ・人口減少
(2025年：190万人 → 2036年：166万人)
- ・南海トラフ地震の発生
(今後30年以内の発生確率：60～90%程度以上)
- ・気候変動・地球温暖化
(2100年までの平均気温が1.9℃上昇)



未来の岐阜県・こんな地域にしたい！

- ・安心して暮らせる
- ・誰もが活躍できる
- ・災害に負けない
- ・快適に暮らせる
- ・故郷に愛着が持てる
- ・未来を支える行政

*上記は、県民の皆様から意見募集を行うため、これまで有識者の皆様からいただいたご意見などを踏まえ、現時点（R8.5.26時点）で整理したもの

観光を通じた県内外への魅力発信により、人やモノが集まる岐阜県へ

⇒ 観光資源を幅広く捉え、交流・関係人口拡大へ

（観光の新たな切り口：農林業、教育、伝統産業、歴史、文化、スポーツ、食、アニメ 等）



人やモノが集まる本県に魅力を感じ、県民自身が誇りを持てる岐阜県へ

⇒ 観光による広がり（若者の雇用創出・地域交通の維持など）を県民の仕事や生活の充実につなげ、岐阜県への愛着を育む

